

自然妊娠をお望みの方へ

卵管鏡を用いた  
卵管鏡下卵管形成術

練馬総合病院  
産婦人科

# 卵管鏡下卵管形成術（FT : Falloposcopic Tuboplasty）とは

妊娠を妨げる要素は、大きくは子宮に原因がある場合と卵巣に原因がある場合と卵管に原因がある場合に分けられます。このうち、卵管に原因がある場合（以下、卵管性不妊）が最も頻度が高いとされています。

FTは子宮卵管造影検査などにより、卵管の閉塞や通過障害が認められる卵管性不妊と診断された場合\*に、保険適応となる内視鏡手術のひとつです。

卵管鏡を用いて卵管内を観察し、カテーテルに内蔵されたバルーンを卵管内で押し進めることで、閉塞している卵管の通りを拡げる治療法です。報告によると通過性回復は**95%**以上に及ぶとされています。

FTにより卵管の通過が改善されることで、自然妊娠が望めるようになり、タイミング療法や人工授精などでの妊娠にも期待ができるようになります。

治療後、約**30%**に妊娠が成立しますが期間として治療後**1年以内**の妊娠が多いです。

\*卵管采部分の閉塞には適応とならないため、腹腔鏡下での手術を提案することがあります。

## FTは、詰まっていたり狭くなっている卵管を通す

カテーテル手術です。

### <手術の適応時期>

月経終了後から排卵期前（月経不順がある場合は、妊娠していないこと確認する必要があります）

### <麻酔>

局所麻酔または静脈麻酔で行います。

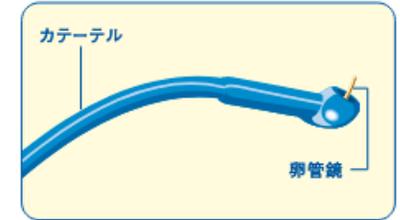
### <検査>

血液検査、レントゲン、心電図など

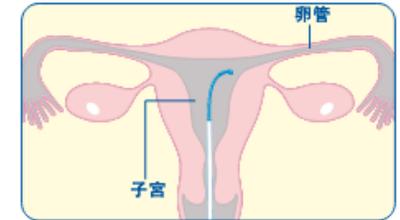
### <手術時間>

30分程度です。順調に経過すれば手術当日に帰宅できます。

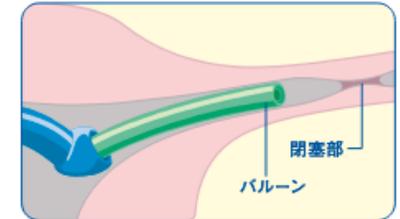
- ① 治療器具は、内視鏡（卵管鏡）を内蔵した細い管（カテーテル）です。



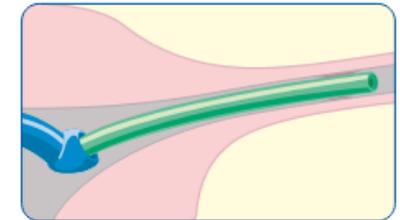
- ② カテーテルを膣から子宮へと挿入し、卵管に近づけます。



- ③ カテーテルの風船（バルーン）を膨らませて、卵管の中へバルーンを進めます。



- ④ 詰まっていたり、狭くなっている部分を拡げます。



- ⑤ 最後に、通過障害が改善したことを卵管鏡で確認します。

